

# 結び

musubi

2021 September  
No.132

9

特集 「農業」「福祉」双方が理解し合って  
成り立つ農福連携

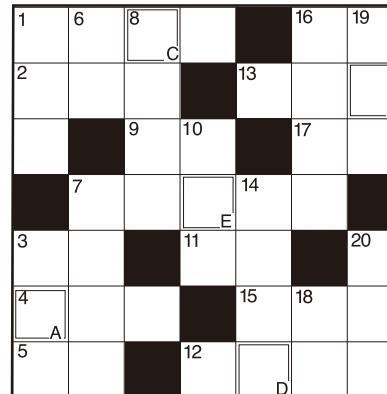


今月の表紙 中村 英志さん(2~3ページ)

頭の  
体操

クロスワードパズル

Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉はなんでしょうか?



→ ヨコのカギ

- 米の収穫作業の一つ。手で行うときは鎌を使います
- 家具などに使う膝(とう)のこと
- アルファベットの9番目
- フランス語で栗のこと
- 1位が金、2位が銀なら3位は
- 阿倍仲麻呂や吉備真備などこの役を果たしました
- 鉄砲に込める物
- チヨキガはさみならグーは
- ボール紙のことをこう呼ぶことも
- 釣りに使う透明な糸
- 宗谷、室戸、足摺といえば
- 何もすることがない状態です
- 喜・怒・哀・樂――

↓ タテのカギ

- 中東の国。首都はバグダッド
- 台風に備えて閉めておこうかな
- すしのしゃりにのせます
- 9月の第3月曜日は――の日。国民の日です
- 難しくありません
- 町火消しが火事場で振った物
- 草木も眠る――時
- 夕方「カナカナカナ…」と鳴くセミ
- ハウスみかんの生産量が日本一の県
- 鼻からあごまでを覆うように着けます
- 十五夜に楽しむもの

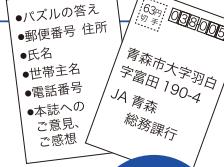
## クロスワードパズルの応募方法

9月号のプレゼント

カシスジャムの店  
おおた(青森市浪岡)  
ジャムセット  
(カシス・イチゴ・リンゴ)  
※当選発表は 11月号  
3名様



頂いた個人情報は「読者の声」「当選者の商品発送」のみを使用させていただきます。  
ハガキ又はFAX.017-788-0281でご応募ください。



応募締切  
10/6

8月号の答え

A B C D E  
リツシユウ

7月号当選者

山本博史さん、梶浦猛さん  
沢谷和子さん

## JA青森読者のひろば 読者の声

今回の特集で、初めて葉たばこの栽培方法について知りました。出荷までの工程を見る限り、気の遠くなるような作頑張ってほしいものです。(今別町 鳥中由加子さん)

JTでは、喫煙人口の減少や加熱式たばこの市場拡大により、葉たばこの作付をやめる農家を10年ぶりに募集しているそうです。農家さんが色々な手間暇をかけて育てている様子が強くなっています!!!

主人が家庭菜園を始めて3年、収穫するのはいいのですが、多すぎて料理するの大変。毎日野菜づけ、レシピ、夏野菜いばりお願い!!!(平内町 田村とき子さん)

料理が大変など収穫できるということは、且那様の野菜作りの熱が素晴らしいと嬉しいです!嬉しい悲鳴ですね♪レシピをもっと沢山掲載してほしいといふ声が多かったです。今は青森中央短期大学の学生さんが毎月考案してくれていますので、是非チャレンジしてみてください!

### 「読者の声」大募集!

広報誌JA青森を読んでの感想、日頃感じていること、農業への熱い思いなどを、右記「広報誌JA青森」編集部宛てまでお送りください。

※皆様からいただいた「読者の声」は、広報誌に掲載させていただく可能性があります。お送りいただいた方は、応募者氏名のほか、ペンネームやニンシャル希望であればそちらもご記入ください。

たくさんの投稿ありがとうございます!皆様の声、どんどんお聞かせください!

今別の道の駅に行って一球入魂かぼちゃのアイスを食べてきました。とてもおいしかったです!でもおいしいいただきました。JA青森市大字羽白字富田190番地4(市内浪岡 後藤芳子さん)

7ページで紹介した各市町村での当地アイスです!どれも大変美味しいらしいので、私も全割烹を目指したいと思います!キンティさんの「かぼマドレ」もしつとりで美味しいのですご、お勧めですよ~♪

今年もキュウリ、ナス、ピーマン、ミニトマト、アイコが収穫できました。特にキュウリは豊作でした。(市内久須志 西沢良二さん)

毎年 JA 蒲生所から苗を購入してくださり、ありがとうございます。今年は猛暑で畠の管理も大変だったのですが、なかなか育つんですね♪

### 「農作業に関する質問」と「読者の声」あて先

〒038-0058 青森市大字羽白字富田190番地4  
JA青森 総務課 行 FAXの場合 017-788-0281

JA  
青森

広報誌JA青森132号 2021年9月15日発行 発行/青森農業協同組合 編集発行人(参事)/福士 淳

〒030-0058 青森県青森市大字羽白字富田190番地4

☎017-763-1001(総務部総務課) URL http://www.jaaomori.or.jp

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。





事業所のスタッフが作業の進捗や、効率的に作業できているかを確認



収穫作業しやすいように手製のかごを使用



作業前に、中村さんから収穫のポイントを教わる



事業所手作りのマニュアル

「週に2～3日、収穫時期など忙しいときはほぼ毎日、作業をしてもらっています。来てくれるメンバーの中には、作業が早いペーランの方もいるんですよ。例年5月の植え付けから11月に苗の片付けをするまで、シートを通してミニトマトの成長に向き合ってもらっています。「美味しい」と言つてもらえるのを育てることで、社会に対する意識のある仕事なんだと思ってもらいたいですね」

現在のやり方によるままで、農園側、事業所側双方の努力が必要だったと溝江さんは話します。

「農園側がどんな作業をしてもいいといふ部分での擦り合わせが必要でした。また、利

用者さんへの接し方や伝え方は、中村さんに

## 「農業」「福祉」双方が理解し合って成り立つ農福連携



今号のテーマは「農福連携」です。蓬田村のハウスでミニトマトを栽培する中村英志さんは、4年ほど前から農福連携に取り組んでいます。

中村さんが農福連携を始めたきっかけや農福連携を導入してよかったです、また事業所からみた農福連携について伺いました。

### 東京からリターンし、夫婦で始めたミニトマト栽培

中泊町出身の中村さんは、38歳のとき東京からリターン。青森市孫内で新規就農の農業研修を2年間受けた後、ミニトマト農家として就農しました。「実家では漁師をしていたので、一次産業は身近でした。東京からリターンするとき、企業に勤めるよりも生産者になりたい」と思い、最初は平館でホタテの養殖をしようかなどと考えていました。蓬田村で就農支援を受け続けていたのを知り、研修を受けた農家さんがミニトマトの栽培をしていたところから、ミニトマトの農家になりました。

現在中村さんは、蓬田村の3箇所にハウス15棟を持ち、およそ2アールでミニトマトを栽培しています。ミニトマトは2本立ちで広大な面積でのミニトマト栽培。中村さんはご夫婦でトマト栽培に取り組んでいますが、栽培している間に工夫を重ねています。また、作業を始める前に、その日の作業内容や収穫の目安などを中村さんから伝えることで、農園の状態に合わせた作業を実現できています。

中村さんは、蓬田村の3箇所にハウス15棟を持ち、およそ2アールでミニトマトを栽培しています。ミニトマトは2本立ちで広大な面積でのミニトマト栽培。中村さんはご夫婦でトマト栽培に取り組んでいますが、栽培している間に工夫を重ねています。また、作業を始める前に、その日の作業内容や収穫の目安などを中村さんから伝えることで、農園の状態に合わせた作業を実現できています。



たわわに実るミニトマトは宝石のよう

農福連携は、「農業」「福祉」双方の理解と協力が不可欠

き、収穫の手伝いをしていただいている

### 農福連携についてもっと知ろう

ノウフクWEB(<https://noufuku.jp/>)では、農福連携について詳しく解説しています。また、農林水産省では補助事業も行っています。

#### 【農福連携 相談窓口】

青森県農林水産部農林水産政策課  
青森県青森市長島一丁目1-1  
TEL:017-734-9473 FAX:017-734-8133

#### JJAの窓口紹介

就農を考えている方、働き手を求めている農家さんはぜひ一度ご相談ください。

#### あおもり就農サポートセンター

農業移住・新規就農を希望する方や、すでに新規就農者として営農に当っている農業者の窓口となり、情報提供や巡回指導等を行っています。

TEL 017-752-6445(青森市大学平新田池上11-14)  
※12月に移転しました!

#### 無料職業紹介所

農業労働力の確保が必要なJA組合員と求職者(働き手)のマッチングを手助けしています。

TEL 0172-62-4111(代)(JA青森浪岡支店内)



#### PROFILE

##### 中村 英志さん

中泊町出身。現在就農8年目で、妻の千鶴さんと2人でミニトマトの栽培をおこなっています。4年ほど前から農福連携に取り組み、就労継続支援A型事業所「ビルシャナ」と連絡。農産物の栽培を通して仕事のやりがいを伝え、社会貢献への後押しをしている。

##### 就労継続支援A型事業所「ビルシャナ」

障がいを持つの方や、対象難病の指定を受けた方への就労の機会を提供する場であり、一般就労を目指すための知識の向上や技能の訓練を行なうための場であります。就労契約に基づいて各地区の最低賃金が保障され、働くながら訓練するための福祉サービスが就労継続支援A型です。

NPO法人ビルシャナ

青森市富田2-15-6

TEL:017-763-0073 FAX:017-763-0074

HPはこちら(<http://www.vairocana.or.jp/index.html>)

農福連携とは、「農業における課題」「福祉における課題」双方の課題を解決しながら、双方に利益がある「win-win」の取り組みのことを指します。中村さんが農福連携と出会ったのは、今から約4年前。青森県のモデル事業として就労継続支援A型事業所の利用者さんを積極的に行っていたのを知り、研修を受けた農家さんがミニトマトの栽培をしていたところから、ミニトマトの農家になりました。

現在中村さんは、蓬田村の3箇所にハウス15棟を持ち、およそ2アールでミニトマトを栽培しています。ミニトマトは2本立ちで広大な面積でのミニトマト栽培。中村さんはご夫婦でトマト栽培に取り組んでいますが、栽培している間に工夫を重ねています。また、作業がとても間に合いません。福連携している就労継続支援A型事業所「ビルシャナ」の利用者さんに、週に2～3回農園に来ていただけの受け入れでしたが、きちんと作業していただけたことがきっかけです。

「県の方につないでいただきNPO法人ビルシャナの溝江所長と出会いました。3日間だけの受け入れでしたが、きちんと作業していただけた助かったので、継続する方向で話を進め、それ以降ずっとお世話をしています」と中村さん。農園の手伝いに来てくれる利用者さんは、精神疾患や発達障がいなどで、一般企業で働くことが難しい障がいの方であります。事業所に通う利用者さんは、事業所と雇用契約を結んでいて、働いた分の時給が発生します。



## 新採用職員が農業体験実習

とき：2021年8月19日(木)、20日(金)



1人ずつ畝間に入り葉取り・摘果作業をする



視察に訪れた長谷川専務も一緒に説明を聞く



手前が手入れ後の苗。葉の量が一目瞭然

19日、20日の2日間、令和3年度新採用職員10人を対象に農業体験実習を行いました。農作業をJA職員自ら体験することで農家・組合員への理解を深め、JA青森職員としての自覚を持って農家・組合員の負託に応えられる職員の育成が目的です。新採用職員らはハウス内の除草作業や夏秋イチゴの葉取り、摘果などに汗を流しました。

農業体験実習を受け入れたのは青森市月見野で夏秋イチゴ5.9ha、ニンニク1.5ha、その他の野菜50haを栽培する清水ファーム代表の清水一也さんと妻の満寿美さん。新採用職員は2つのグループに分かれ、各グループが1日ずつ参加しました。

新採用職員らが体験したのは、夏秋イチゴを栽培するハウス内での作業。安心・安全な農産物にこだわっている清水ファームの夏秋イチゴは、化学肥料不使用・有機認証農業で栽培されており、近日中に有

### 青森県からのお知らせ



#### 第1弾として販売を開始したのは、以下の3商品。

- 蓬田村のトマトを使用「トマトヨーグルト」  
(よもぎた物産館マルシェよもぎた)
- 外ヶ浜町の大豆を使用「『おおすず』きなこミルク」  
(道の駅たいらだて o h ! だいば／蟹田駅前市場 ウエル蟹)
- 今別町特産の一球入魂かぼちゃを使用「一球入魂かぼちゃミルク」  
(道の駅いまべつ半島フラザスクル)

第2弾では青森市のカシス、平内町の酒粕を使用したアイスを予定しており、販売日等は現在調整中です。商品を購入した方には、抽選で東青地域の特産品が当たるアンケートも実施しています。

事業を担当する同県民局の工藤綾子主査は「各市町村の特産品を使用した東青オリジナルアイスクリームをこの機会に是非お買い求めください。東青地域には名所、食、人など魅力あるものがたくさんありますのでみなさんに知っていただきたい」と呼びかけていました。

## 東青地域農産物使用の オリジナルアイスがプレデビュー！

8月7日より、青森県東青地域県民局地域連携部が管内5市町村と連携して開発した「東青オリジナルアイスクリーム」がプレデビューしました。東青地域内の道の駅などで販売が始まっています。期間限定・数量限定での販売のため、なくなり次第終了。今後、購入者から寄せられたアンケート結果をもとに商品をブラッシュアップし、2022年の本格販売を目指します。

「東青オリジナルアイスクリーム」の販売は、同県民局がおこなう「東青『半島と岬を活かす』誘客促進事業」の一環。管内5市町村の魅力をグルメを通じて発信し、誘客につなげたい考えです。

## 東北電力と初の共催イベント 開催

とき：2021年7月31日(土)  
場所：東北電力よりそくキッチンスタジオ e-TO

JA青森では、東北電力㈱青森支店と初となる共催イベント「野菜ソムリエプロによる食育セミナー」と「旬なあおもり野菜を使った親子IH料理教室」を開催しました。参加費は無料で、親子が食育について学べる場を設け、地産地消の推進と食品ロスについて考えることで、SDGs の目標12「つくる責任 つかう責任」の達成を目指します。

食育セミナーでは、「野菜ソムリエプロ」や「冷凍生活アドバイザー」などの資格を持つ小田桐雅子さんが講師を務めました。東京都出身の小田桐さんは、夫の地元である青森にリターンして蓬田村でトマトを生産するトマト農家であると同時に、ベジタブルショップ「マグワートマト」も運営しています。自身のトマトづくりや、新鮮な野菜の見分け方などについて講義し、参加者らは小田桐さんの話に熱心に耳を傾けていました。小田桐さんが栽培した「マグワートベリー（品種名：ぶちぶよ）」の試食の提供もあり、皮が非常に柔らかく甘みの強いマグワートベリーを初めて口にした参加者らは「こんなに美味しいミニトマトは食べたことがない」と驚いた様子でした。

親子IH料理教室では、東北電力㈱のホームアドバイザー2人が講師を務め、IHクッキングヒーターを利用して「あおもり野菜のスペニッシュオムレツ」など3品の料理に挑戦しました。使用した食材は、小田桐さんが持参したトマトも含め全て県産品。野菜はJA青森が

提供しました。

小学生の娘と参加した保護者は「野菜嫌いな子どもだが、自分で育てたり調理したものは興味をもって美味しいように食べてくれる。こういったセミナーや料理教室は食育につながる貴重な機会なので、またぜひ親子で参加したい」と感想を述べました。参加者にはお土産として、浪岡特産のブランドトウモロコシ「バサラコーン」を持ち帰っていただき、大変喜ばれました。



## お盆向け花の直売市大盛況

とき：2021年8月11日(水)、12日(木)

8月11日と12日の2日間、JA青森では青森市内2ヶ所の直売所にて、お盆向けの切り花を販売する直売市を開催しました。毎年2日間開催する直売市は、地元の花農家が生産したトルコギキョウなどの高品質な切り花が格安で購入できるとあって、連日販売開始前から長蛇の列ができます。

販売時には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、倉庫内に入場する買い物客の人数を30人に制限し、10人ずつ入れ替えて案内。入場前にはJA職員が手指の消毒とマスクの着用を呼びかけました。午前5時に販売が開始すると、どのお客様も色合いを確かめながら思い思いの花を次々に手に取り、顔が覆われるほど両手いっぱいに抱えた花束をレジに持って行きました。

販売した花はどれも花き農家が前日に準備したもので鮮度抜群。加えて、直売市だからこそ実現できる350円均一という低価格が大人気の秘密です。直売市初日となった11日、会場の1つであるJA青森あすなろグリーンセンター倉庫には約6,000本の花束が用意され、午前8時からは場所を同JA敷地内にある直売所内に移して販売しました。12日の午前5時前には、初日を大きく上回る300人超が並ぶ盛況ぶり。販売終了予定時刻を前にして完売となりました。直売市の2日間で販売された花は10,000束以上。来場者は1,000人を超えるました。

並んでいたいたにも関わらず購入できなかった方には大変ご迷惑をおかけいたしました。今年度の反省を踏まえ、次年度の運営に活かしてまいります。

# 食べて前向きになれる、 パティスリー・アヴァンセのスイーツ



パティスリー・アヴァンセ  
Patisserie AVENCER  
青森県青森市大字石江字江渡13-9  
TEL:017-718-1070

営業日:毎週月曜日、第1・3火曜日  
営業時間 10:00~18:30(~2022年2月)  
10:00~19:00(2022年3月~)



HPはちら!  
<https://avencer.net>



青森市石江のPatisserie AVENCER(パティスリー・アヴァンセ)は、青森県内や東京の洋菓子店で修業を積んだオーナーシェフの中村有里さんが2017年5月にオープンしたお店です。「アヴァンセ」とはフランス語で「前進」を意味する言葉。ケーキを食べててくれたお客様が前向きな気持ちになれるよう、そして中村さん自身も歩みを止めず成長し続けていきたいという願いが込められています。

中村さんがお菓子作りをする上で特に大切にしていることは、「美味しいこと」「安全であること」「食べやすいこと」。素材のもち味を最大限活かせるようシンプルな作りを基調に、食べやすい大きさや量まで計算し、常に食べる側の気持ちに立って創作しているそう。中村さんはシンプルと言いますが、どのケーキも洗練された美しさがあり、店内のショーケースを眺めて選んでいるだけでもワクワクしてきます。

アヴァンセでは県産小麦を使用するなど、県産食材を積極的に使っています。青天の霹靂の米粉を使った「青森ロール」は、卵の風味が感じられるしっとり柔らかい生地とさっぱりした生クリームが相性抜群。1本丸ごと購入の場合は冷凍での提供になります。浪岡産カシスを使った「カシスバターサンド」や県産リンゴを使った「PON PON ばんむ」、県産全粒粉を使った「青森サブレ」など、ケーキだけでなく焼き菓子にも多くの県産食材が使われています。ショートケーキなどの定番商品も人気ですが、季節限定のケーキもお勧め。夏はブルーベリーやリュバープ、秋には栗やラ・フランスなど、季節ごとに旬の食材を使ったケーキが登場しますのでお見逃しなく！



J.A.青森の取り組み  
JA AVELLO  
JA AVELLO

## 詐欺被害などの未然防止へ 高齢者見守りにJAも協力

### 外ヶ浜町消費者安全確保地域協議会 登録証交付式

とき: 2021年8月12日(木)



行。地域による見守りをより一層強化するため、同年8月までの間に構成員の拡充を図り、今回登録証の交付となりました。同協議会にはJAの他、郵便局、警察、社会福祉協議会、銀行、民生委員など、日頃から高齢者に接する機会の多い10団体が構成員として登録しています。

山崎町長は挨拶の中で「県内でも、高齢者を中心に新型コロナウイルス関連の特殊詐欺による被害が急増するなど、深刻な状況になってきている。高齢者と接する機会が多い方々による見守りを強化し、異変を察知した際には消費生活センターなどの関係機関に適切につなぐなど、地域で見守る体制を構築することが有効となる」と話しました。



今月の  
レシピ

K on g e t s u n o r e s h i p i

## 力ボチャラテ

●エネルギー 170kcal ●塩分0.2g ●調理時間20分

**材料(2人分)**

力ボチャ	100g
水(電子レンジ用)	大1
砂糖	大2
バター	10g
水	1/4カップ
牛乳①	1カップ
牛乳②	大2
シナモンパウダー(トッピング)	少々

**作り方**

①力ボチャを2等分して耐熱器に入れ、水を加えてラップをしたら電子レンジで2~3分加熱する。  
 ②①で加熱した力ボチャの皮を除いた実の部分、砂糖、常温に戻したバター、水、牛乳①をミキサーに入れ、30~40秒ミキサーにかける。  
 ③カップに入れ、好みの温かさに電子レンジで加热する。  
 ※作る量によっては、鍋で温めてからカップに移してもOK!  
 ④牛乳②を深めの耐熱容器に入れ、ラップをせずに10秒ほど電子レンジで加热する。その後力ボチーノミキサー(100円均一で購入可)またはドレッシングマドラーで、水っぽさがなくなるまで泡立てる。  
 ⑤④で泡立てた牛乳を③のカップに入れて表面を覆い、中央にシナモンパウダーをのせる。※冷たくして飲む場合は、氷を入れた器に入れる。

#### 調理のポイント

力ボチャの甘みを生かし、食後のデザートとして楽しめるメニューにしました。電子レンジを使って簡単に作ることができ、ホットとアイス好きな方を選べます。

食物栄養学科2年 葛原 朱音さん

### JA青森 × 青森中央短期大学 コラボレシピ

令和5年10月1日から「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入されます。適格請求書発行事業者(登録事業者)のみが適格請求書(インボイス)を交付することができます。

### 登録申請手続は、e-Tax をご利用ください!!

- e-Taxソフト(WEB版)・e-Taxソフト(ASP版)をご利用いただく旨を記載していくことで申請が可能
- e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受取が可能

●「登録申請」には、令和5年10月に既にインボイスに記載が必要な「登録書類」を記載しており、税務申告の際に電子データでの提出をお勧めしています。

●登録申請手続はスマートフォンからでも申請できます。

スマートフォンからの申請には事前にマイナンバーカードの登録が必要です。

●インボイス制度に関する一般的な相談は、税理士・会計士等の専門家へお問い合わせください。

【専用ダイヤル】0120-205-553(9:00~17:00)

【国税庁ホームページ】<https://www.nta.go.jp>

※土日祝除く

国税庁からのお知らせ

消費税の仕入税額控除の方式として

**「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が令和5年10月1日から導入されます。**

#### 適格請求書(インボイス)とは?

適格請求書とは、「売り手が、買い手に対し正確な適用税率や消費税額等を伝えるための手段」であり、一定の事項が記載された請求書や納品書その他これらに類する書類をいいます。

※請求書や納品書、領収書、レシート等、その書類の名称は問いません。

令和元年10月1日から令和5年9月30までの仕入税額控除の方式は「区分記載請求書等保存方式」ですが、令和5年10月1日からは複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として「適格請求書等保存方式」が導入されます。この方式の下では、税務署長に申請して登録を受けた課税事業者である「適格請求書発行業者」が交付する「適格請求書(いわゆるインボイス)」等の保存が仕入税額控除の要件となります。

登録申請書は、令和3年10月1日から登録を受けるためには、原則として、**令和5年3月31日まで**(ただし、困難な事情がある場合には、令和5年9月30日まで)に登録申請書を提出する必要があります。詳しくは下記まで。

**【専用ダイヤル】0120-205-553 (9:00~17:00)**

【国税庁ホームページ】<https://www.nta.go.jp>

※土日祝除く

9

8

# JA 青森 売却物件

(令和3年9月1日現在)

資産管理  
No.2

物件名	奥内敷地	価 格	480万円⇒430万円
所在地	青森市奥内字宮田1-31他	総面積	土地 662.19m <sup>2</sup> 建物 —

資産管理  
No.1

物件名	しめじセンター	価 格	720万円⇒640万円
所在地	青森市飛鳥字福浦7-2	総面積	土地 1996.36m <sup>2</sup> 建物 —

資産管理  
No.8

物件名	旧横内出張所	価 格	1,300万円⇒940万円
所在地	青森市横内字亀井33-1	総面積	土地 525.84m <sup>2</sup> 建物 66.11m <sup>2</sup>

資産管理  
No.7

物件名	旧後潟給油所	価 格	270万円⇒230万円
所在地	青森市小橋字田川57	総面積	土地 2035.49m <sup>2</sup> 建物 181.50m <sup>2</sup>

資産管理  
No.13

物件名	旧今別給油所	価 格	600万円⇒540万円
所在地	東津軽郡今別町浜名字中宇田1-26	総面積	土地 1188.57m <sup>2</sup> 建物 —

資産管理  
No.11

物件名	旧平館支店	価 格	520万円⇒470万円
所在地	東津軽郡外ヶ浜町字平館根岸湯の沢3-8	総面積	土地 2542.95m <sup>2</sup> 建物 623.28m <sup>2</sup>

資産管理  
No.16

物件名	旧中央南ATM	価 格	930万円
所在地	青森市筒井1丁目351-10	総面積	土地 173.20m <sup>2</sup> 建物 174.90m <sup>2</sup>

資産管理  
No.15

物件名	旧北支店	価 格	470万円⇒350万円
所在地	青森市奥内字宮田483-1	総面積	土地 702.27m <sup>2</sup> 建物 —

1. 売却条件 土地については、登記面積とし、建物等を含めて現況の姿での売却となります。なお、分割での売却はいたしません。

・不動産業者の仲介手数料及び所有権移転に伴う費用等は、買受者負担となります。

2. 申込方法 希望者は、本店総務部備え付けの「不動産購入申込書」にて、本店総務部へお申し込みください。

3. 申込期限 毎月20日

お問い合わせ先

JA 青森 総務部管理課 TEL017-763-1035 FAX017-788-0281

## 令和4年度 青森県営農大学校学生募集のお知らせ

## 【募集人員】

課 程	専攻コース	募集定員等
畑作園芸	○野 菜(水稻を含む) ○花 き ○6次産業化	1学年.....50名 (男・女) 修業年限.....2か年 (希望入寮制)
果 樹	○りんご ○一般果樹 ○6次産業化	
畜 産	○畜 産 ○6次産業化	

6次産業化コースは、どの課程からでも専攻可能です。

※6次産業化コースでは、農畜産物の加工・流通・販売に関する知識や技術を身に付けます。

## 【募集日程等】

	推薦選考	一般募集試験	二次募集試験
願 書 受 付	9月29日～10月13日	11月4日～11月18日	1月24日～1月31日
選考日・試験日	11月5日	12月10日	2月10日
合 格 発 表	11月15日	12月20日	2月21日
募 集 人 員 等	定員の3分の2以内 (推薦選考合格者数を含む)	50名	推薦選考及び一般募集試験の合格者が定員に満たない場合のみ実施

※願書のお取り寄せやその他お問い合わせは右記までお願ひいたします

青森県営農大学校 教務研修課  
青森県上北郡七戸町字大沢48番地8  
TEL:0176-62-3112 FAX:0176-62-3986

信用部より



### ローンのことなら JA にお任せ！



J A 青森では、住宅ローンやマイカーローンの他、様々なローンをご用意しております。  
農家・組合員様以外でも条件を満たせばご利用いただけますので、お近くの J A まで  
お気軽にご相談ください。

### 理事会 だより 定例理事会

日時：令和3年7月29日(木)午後1時30分

場所：青森農業協同組合 営農経済本部2階会議室

## ●提出議案

- 議案第1号 非常勤理事への変更について
- 議案第2号 理事報酬配分の変更について
- 議案第3号 出資金口数減少の承認について
- 議案第4号 理事とのりんご委託契約(令和3年産予約金支払い)について
- 議案第5号 理事に対する貸付の承認について
- 議案第6号 令和2年度ディスカウント率について
- 議案第7号 「コンプライアンス・マニュアル」の一部変更について
- 議案第8号 職員就業規則の一部変更について
- 議案第9号 りんごセンター就業規則の一部変更について

- 議案第10号 「FinTech企業等との連携及び協働に係る方針」の一部改正について
- 議案第11号 固定資産の取得について
- 議案第12号 各委員会委員の選出について

## JA青森の概要

- 正組合員数／7,157名
- 准組合員数／6,281名
- 出資金／2,283,137,000円
- 役員数／22名
- 職員数／201名